

事業環境に係る経営課題に関するアンケート調査結果

新井商工会議所・中小企業相談所

【調査概要】

当所では、会員事業所を対象（回答事業者数：167件/584件 回答率:28.6%）に、事業環境に係る経営課題に関する調査として、中東情勢と人手不足の影響や、今後の支援ニーズなどを把握する為、令和8年6月24日～令和8年7月10日の間、景況調査と併せて調査を行いました。

※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない場合があります。

1. 中東情勢が自社事業に及ぼす影響と対応策

中東情勢が自社事業に与える影響について、「危機的・かなり・多少悪影響がある」と回答した企業は全体の75.8%に達しており、特に製造業（94.7%）や建設業（88.7%）で深刻です。

具体的な悪影響の内容は、原材料等の調達コスト上昇（34.5%）や原材料等の欠品・調達難（26.6%）が上位を占めています。

この原材料等の調達・確保難に対し、建設業や製造業の多くが「多少～かなり支障がある」と回答しており、供給安定の見込みについては全体の64.5%が「未定」とするなど先行き不透明な状況です。

対応策としては「販売価格の見直し（34.1%）」や「原材料等の調達先の多様化（16.7%）」、「経費削減（16.7%）」が上位に挙がっています。

行政や商工会議所に対しては、全体の30.2%が「補助金等の活用・申請支援」を最も強く望んでいます。

(1)中東情勢が自社事業に及ぼす影響度について

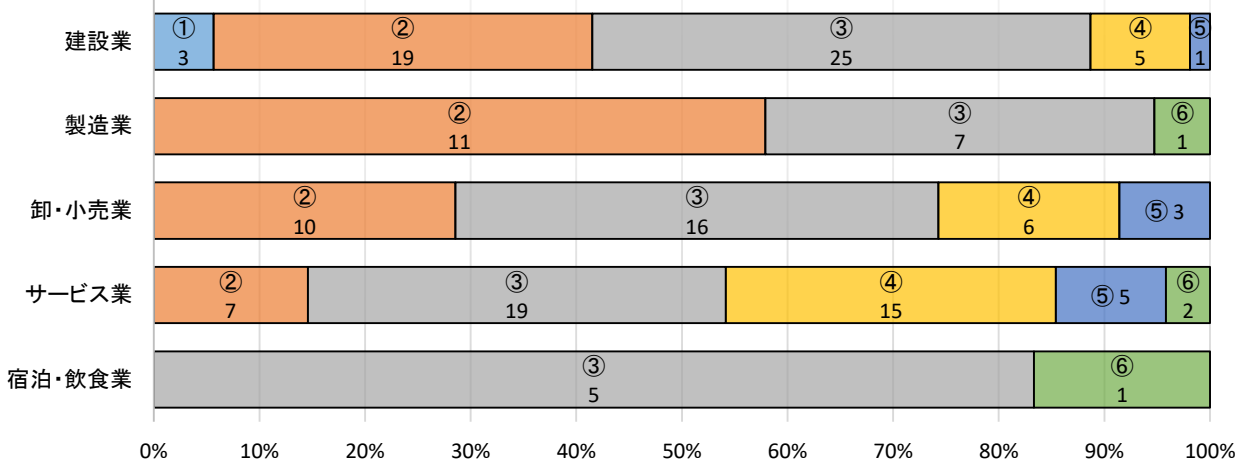
【選択肢】

- ①危機的な悪影響がある
③多少悪影響がある
⑤影響はないが、今後影響がありそう
- ②かなり悪影響がある
④ほとんど影響はない
⑥分からない・不明

業種	建設業		製造業		卸・小売業		サービス業		宿泊・飲食業		合計	
全体数	53	100.0%	19	100.0%	35	100.0%	48	100.0%	6	100.0%	161	100.0%
①	3	5.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	1.9%
②	19	35.8%	11	57.9%	10	28.6%	7	14.6%	0	0.0%	47	29.2%
③	25	47.2%	7	36.8%	16	45.7%	19	39.6%	5	83.3%	72	44.7%
④	5	9.4%	0	0.0%	6	17.1%	15	31.3%	0	0.0%	26	16.1%
⑤	1	1.9%	0	0.0%	3	8.6%	5	10.4%	0	0.0%	9	5.6%
⑥	0	0.0%	1	5.3%	0	0.0%	2	4.2%	1	16.7%	4	2.5%

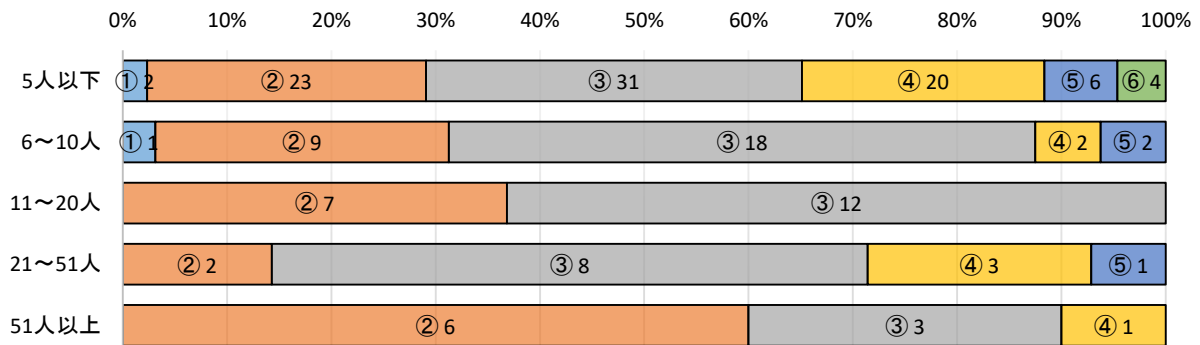
75.8%

図表1-(1) 【業種別】中東情勢の影響度



規模	5人以下		6～10人		11～20人		21～51人		51人以上		合計	
全体数	86	100.0%	32	100.0%	19	100.0%	14	100.0%	10	100.0%	161	100.0%
①	2	2.3%	1	3.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	1.9%
②	23	26.7%	9	28.1%	7	36.8%	2	14.3%	6	60.0%	47	29.2%
③	31	36.0%	18	56.3%	12	63.2%	8	57.1%	3	30.0%	72	44.7%
④	20	23.3%	2	6.3%	0	0.0%	3	21.4%	1	10.0%	26	16.1%
⑤	6	7.0%	2	6.3%	0	0.0%	1	7.1%	0	0.0%	9	5.6%
⑥	4	4.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	2.5%

図表1-(1) 【規模別】中東情勢の影響度



a.悪影響の内容【複数回答】※(1)で「①・②」と回答した方

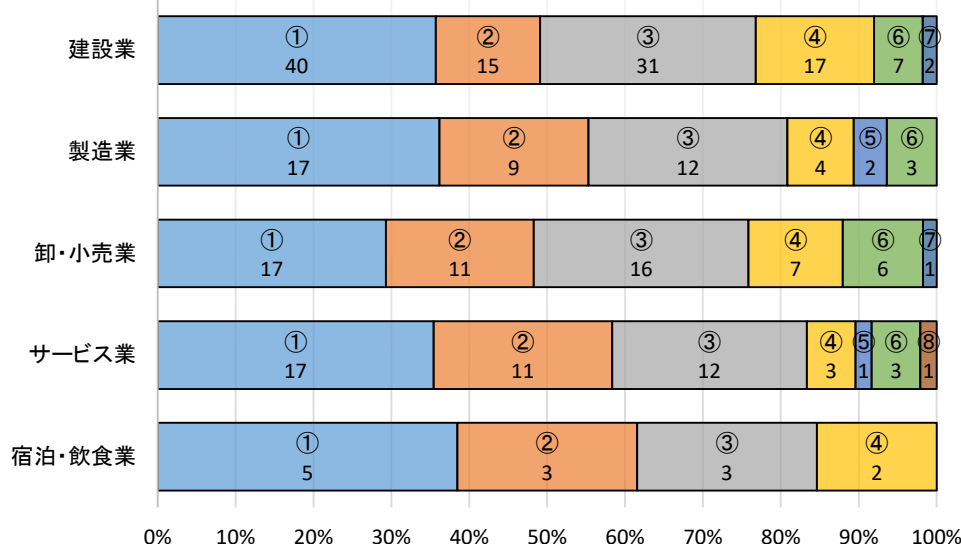
【選択肢】

- | | | |
|---------------|-------------|----------------|
| ①原材料等の調達コスト上昇 | ②エネルギーコスト上昇 | ③原材料等の欠品・調達難 |
| ④物流の遅延・不安定化 | ⑤為替変動の影響 | ⑥需要減少や取引先の活動停滞 |
| ⑦資金繰りの悪化 | ⑧分からない・不明 | ⑨その他 |

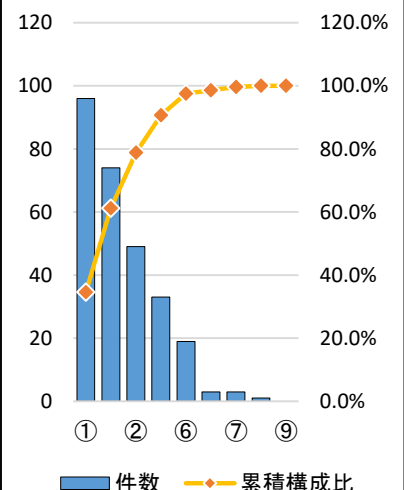
業種	建設業		製造業		卸・小売業		サービス業		宿泊・飲食業		合計	
全体数	112	100.0%	47	100.0%	58	100.0%	48	100.0%	13	100.0%	278	100.0%
①	40	35.7%	17	36.2%	17	29.3%	17	35.4%	5	38.5%	96	34.5%
②	15	13.4%	9	19.1%	11	19.0%	11	22.9%	3	23.1%	49	17.6%
③	31	27.7%	12	25.5%	16	27.6%	12	25.0%	3	23.1%	74	26.6%
④	17	15.2%	4	8.5%	7	12.1%	3	6.3%	2	15.4%	33	11.9%
⑤	0	0.0%	2	4.3%	0	0.0%	1	2.1%	0	0.0%	3	1.1%
⑥	7	6.3%	3	6.4%	6	10.3%	3	6.3%	0	0.0%	19	6.8%
⑦	2	1.8%	0	0.0%	1	1.7%	0	0.0%	0	0.0%	3	1.1%
⑧	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.1%	0	0.0%	1	0.4%
⑨	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

78.7%

図表1-(1)-a 【業種別】悪影響の内容



悪影響の内容分析
パレート図



(2)原材料等の価格高騰による、売上原価・販管費の上昇度について【複数回答】

【選択肢】

①1～10%

②11～20%

③21～40%

④41～60%

⑤61%以上

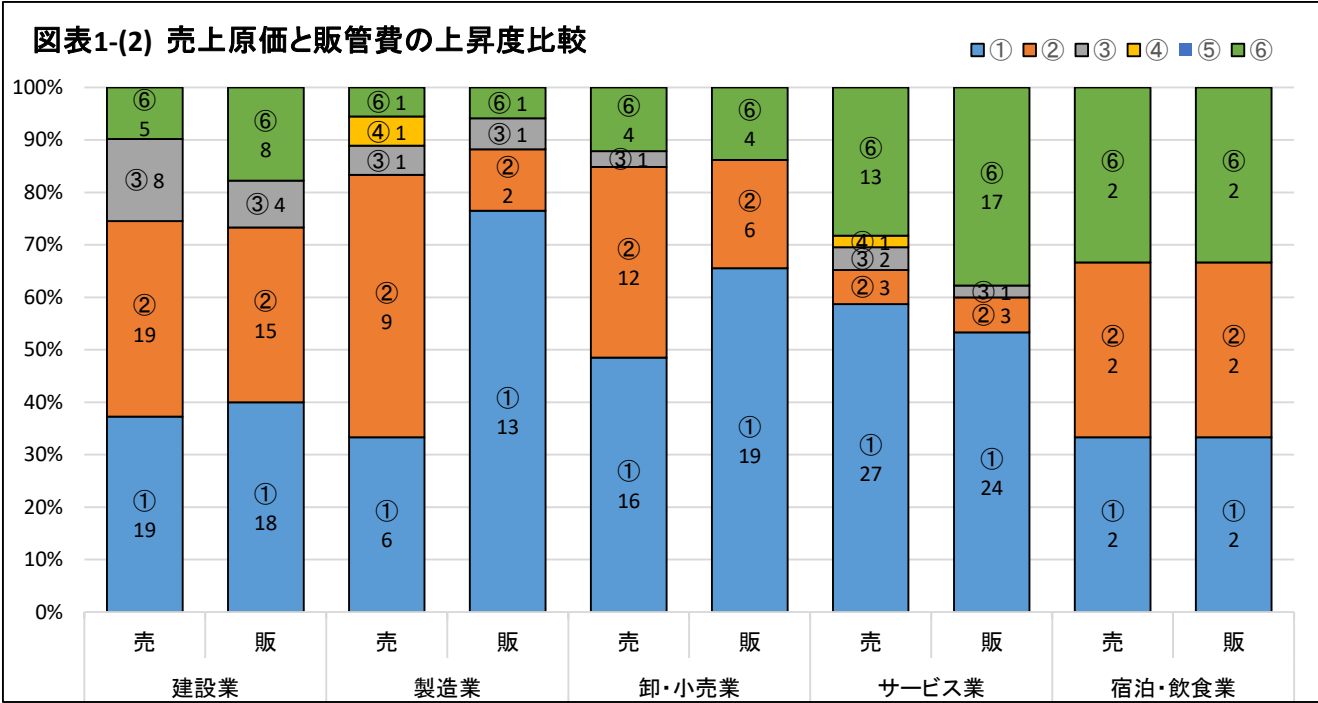
⑥分からない

①: 売上原価

業種	建設業		製造業		卸・小売業		サービス業		宿泊・飲食業		合計	
全体数	51	100.0%	18	100.0%	33	100.0%	46	100.0%	6	100.0%	154	100.0%
①	19	37.3%	6	33.3%	16	48.5%	27	58.7%	2	33.3%	70	45.5%
②	19	37.3%	9	50.0%	12	36.4%	3	6.5%	2	33.3%	45	29.2%
③	8	15.7%	1	5.6%	1	3.0%	2	4.3%	0	0.0%	12	7.8%
④	0	0.0%	1	5.6%	0	0.0%	1	2.2%	0	0.0%	2	1.3%
⑤	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑥	5	9.8%	1	5.6%	4	12.1%	13	28.3%	2	33.3%	25	16.2%

②: 販管費

業種	建設業		製造業		卸・小売業		サービス業		宿泊・飲食業		合計	
全体数	45	100.0%	17	100.0%	29	100.0%	45	100.0%	6	100.0%	142	100.0%
①	18	40.0%	13	76.5%	19	65.5%	24	53.3%	2	33.3%	76	53.5%
②	15	33.3%	2	11.8%	6	20.7%	3	6.7%	2	33.3%	26	18.3%
③	4	8.9%	1	5.9%	0	0.0%	1	2.2%	0	0.0%	6	4.2%
④	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑤	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑥	8	17.8%	1	5.9%	4	13.8%	17	37.8%	2	33.3%	30	21.1%



(3)原材料等の価格上昇分の販売価格への転嫁割合について

【選択肢】

①全く転嫁できていない

②ほとんど転嫁できていない(1～20%)

③多少転嫁できている(21～40%)

④ある程度転嫁できている(41～80%)

⑤ほぼ転嫁できている(81～99%)

⑥全て転嫁できている

業種	建設業		製造業		卸・小売業		サービス業		宿泊・飲食業		合計	
全体数	47	100.0%	17	100.0%	31	100.0%	40	100.0%	6	100.0%	141	100.0%
①	4	8.5%	5	29.4%	5	16.1%	14	35.0%	0	0.0%	28	19.9%
②	15	31.9%	6	35.3%	2	6.5%	13	32.5%	3	50.0%	39	27.7%
③	19	40.4%	4	23.5%	16	51.6%	7	17.5%	3	50.0%	49	34.8%
④	9	19.1%	2	11.8%	8	25.8%	6	15.0%	0	0.0%	25	17.7%
⑤	4	8.5%	1	5.9%	4	12.9%	3	7.5%	0	0.0%	12	8.5%
⑥	1	2.1%	0	0.0%	0	0.0%	2	5.0%	0	0.0%	3	2.1%

その他:これからする予定

(4)原材料の調達・確保難が事業に与える支障度について

【選択肢】

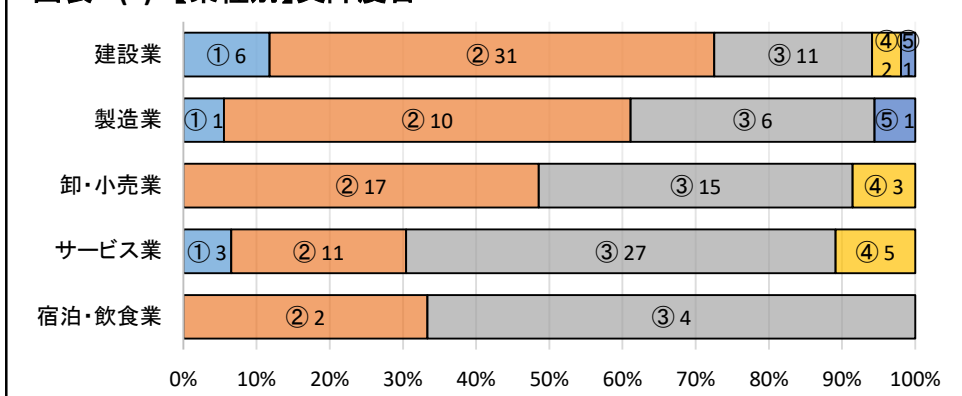
- ④全く支障がない

業種	建設業		製造業		卸・小売業		サービス業		宿泊・飲食業		合計	
全体数	51	100.0%	18	38.3%	35	100.0%	46	100.0%	6	100.0%	156	100.0%
①	6	11.8%	1	2.1%	0	0.0%	3	6.5%	0	0.0%	10	6.4%
②	31	60.8%	10	21.3%	17	48.6%	11	23.9%	2	33.3%	71	45.5%
③	11	21.6%	6	12.8%	15	42.9%	27	58.7%	4	66.7%	63	40.4%
④	2	3.9%	0	0.0%	3	8.6%	5	10.9%	0	0.0%	10	6.4%
⑤	1	2.0%	1	2.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.3%

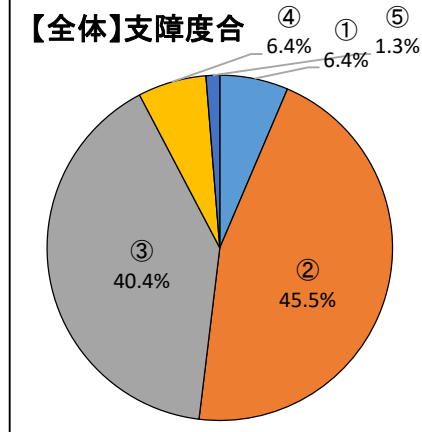
⑤その他

今はいいけど、もうすぐ無くなると言われた。接着剤、パイプ、WC
設計協力会社なので直接的な影響は無いが客先での受注が足踏みしている模様

図表1-(4) 【業種別】支障度合



【全体】支障度合



●不足・調達困難な物品名 ※(4)で「①・②」と回答した方

- ## 1.化学製品・石油製品

【燃料・油脂・潤滑油】

【有機溶剤・塗料・ケミカル】

【接着剤・ボンド】

A重油、軽油、エンジンオイル、ディーゼルエンジンオイル、潤滑油、油脂類

塗料、シンナー、錆止め、シーリング材（コーキング剤）、ケミカル類、アドブルー

接着剤、ボンド類、のり

- ## 2. プラスチック・包装資材類

【包裝・梱包資材】

【プラスチック・樹脂製品】

ビニール袋関係、米袋、包装フィルム、包材、袋、ビニール類、梱包材、レジ袋、保冷
バッグ、ポリ袋、梱包用ビニール紐、テープ類

プラ容器、プラ製品、ポリカーボネート、ゴム手袋、ナフサ由来の材料・副資材

- ### 3. 建築・住宅設備資材類

【住宅設備機器】

【配管・電材】

【構造・仕上げ・断熱材】

住宅設備（バス、トイレ、WC等）、照明器具、エアコン部材等

塩ビパイプ・継手、ドレンパイプ、遮音パイプ、電線

屋根材（トタン、ルーフィング）、断熱材、スタイロフォーム、表具関係の材料、建築資材

- #### 4. 電子部品・その他

【電子部品】

【農業資材】

【食品原料】

フラッシュメモリー (SSD)

農業用ハウスフィルム

コーヒー生豆

- ## 5.その他

【取引・受注影響】

- ・原材料仕入れ先を探さなければならない

(仕入原材料費高騰の為、先方の大きな取引先様が取引中止になった為、製造そのものを中止にする為)

(5)受注等のキャンセルについて

【選択肢】

①あった

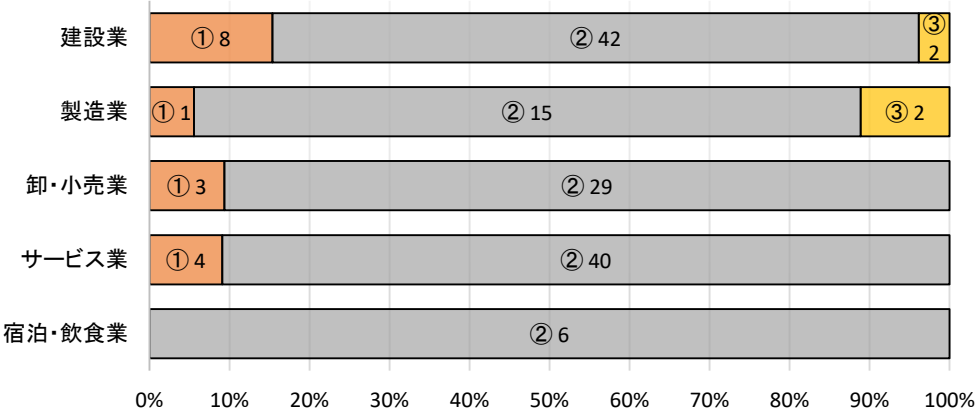
②なかった

③その他

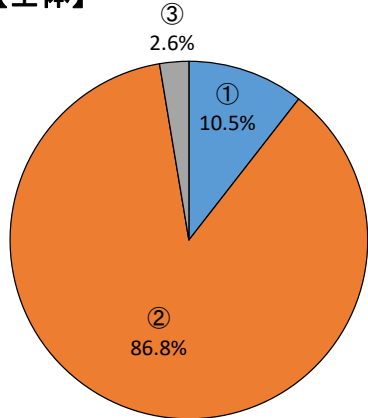
業種	建設業		製造業		卸・小売業		サービス業		宿泊・飲食業		合計	
全体数	52	100.0%	18	100.0%	32	100.0%	44	100.0%	6	100.0%	152	100.0%
①	8	15.4%	1	5.6%	3	9.4%	4	9.1%	0	0.0%	16	10.5%
②	42	80.8%	15	83.3%	29	90.6%	40	90.9%	6	100.0%	132	86.8%
③	2	3.8%	2	11.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	2.6%

③その他 保留案件 仕様変更が多い感じです
取引先様の判断で、製造中止になってしまった

図表1-(5) 【業種別】受注等キャンセル



【全体】



(6)原材料等の供給安定見込みについて

【選択肢】

①未定

②1～2ヶ月程度

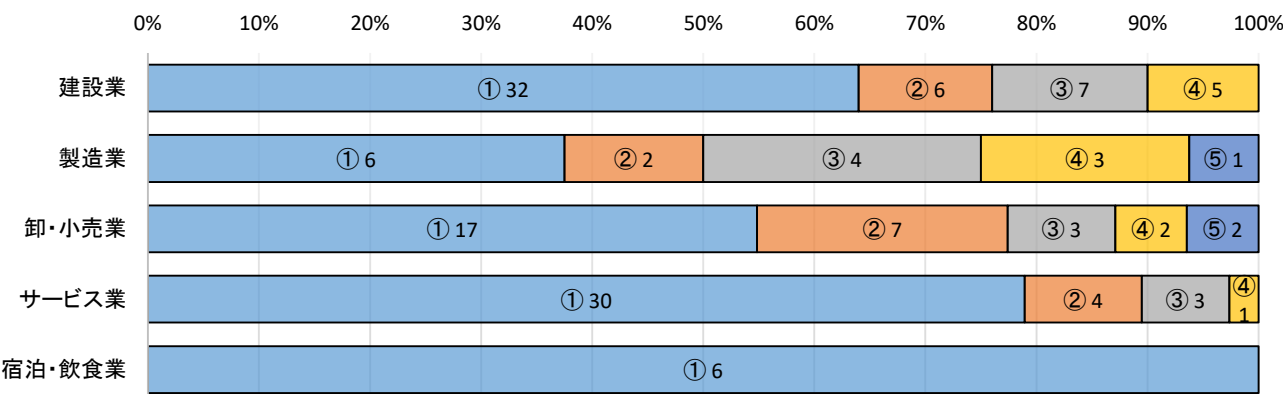
③3～5ヶ月程度

④6ヶ月～1年未満

⑤1年以上

業種	建設業		製造業		卸・小売業		サービス業		宿泊・飲食業		合計	
全体数	50	100.0%	16	100.0%	31	100.0%	38	100.0%	6	100.0%	141	100.0%
①	32	64.0%	6	37.5%	17	54.8%	30	78.9%	6	100.0%	91	64.5%
②	6	12.0%	2	12.5%	7	22.6%	4	10.5%	0	0.0%	19	13.5%
③	7	14.0%	4	25.0%	3	9.7%	3	7.9%	0	0.0%	17	12.1%
④	5	10.0%	3	18.8%	2	6.5%	1	2.6%	0	0.0%	11	7.8%
⑤	0	0.0%	1	6.3%	2	6.5%	0	0.0%	0	0.0%	3	2.1%

図表1-(6) 【業種別】供給安定見込み



(7)原材料等の価格高騰に対する対応策について

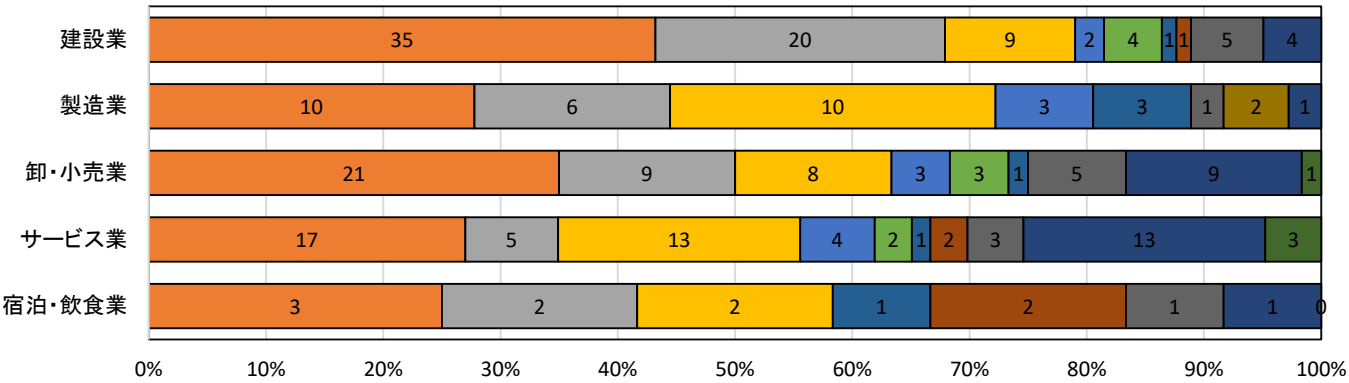
【選択肢】

- ①販売価格の見直し
④省エネ対策
⑦賃上げ計画の見直し
⑩分からない・不明
- ②原材料等の調達先の多様化
⑤運転資金の確保
⑧在庫の積み増し
⑪その他
- ③経費削減
⑥設備投資計画の見直し
⑨工場稼働時間、店舗の営業日数調整

業種	建設業		製造業		卸・小売業		サービス業		宿泊・飲食業		合計	
全体数	81	100.0%	36	100.0%	60	100.0%	63	100.0%	12	100.0%	252	100.0%
①	35	43.2%	10	27.8%	21	35.0%	17	27.0%	3	25.0%	86	34.1%
②	20	24.7%	6	16.7%	9	15.0%	5	7.9%	2	16.7%	42	16.7%
③	9	11.1%	10	27.8%	8	13.3%	13	20.6%	2	16.7%	42	16.7%
④	2	2.5%	3	8.3%	3	5.0%	4	6.3%	0	0.0%	12	4.8%
⑤	4	4.9%	0	0.0%	3	5.0%	2	3.2%	0	0.0%	9	3.6%
⑥	1	1.2%	3	8.3%	1	1.7%	1	1.6%	1	8.3%	7	2.8%
⑦	1	1.2%	0	0.0%	0	0.0%	2	3.2%	2	16.7%	5	2.0%
⑧	5	6.2%	1	2.8%	5	8.3%	3	4.8%	1	8.3%	15	6.0%
⑨	0	0.0%	2	5.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.8%
⑩	4	4.9%	1	2.8%	9	15.0%	13	20.6%	1	8.3%	28	11.1%
⑪	0	0.0%	0	0.0%	1	1.7%	3	4.8%	0	0.0%	4	1.6%

⑪その他 まったく無対応 現状維持
資材の制限、使用量の見直し 商品開発、新事業の取組

図表1-(7) 【業種別】対応策



(8)価格高騰・価格転嫁に対する望む支援策について

【選択肢】

- ①価格交渉セミナーの開催
④資金繰り・融資に関する相談
⑦特になし
- ②補助金等の活用・申請支援
⑤行政等への適切な要望活動
⑧その他
- ③省エネやコスト削減の指導
⑥新たな調達先・販路開拓支援

業種	建設業		製造業		卸・小売業		サービス業		宿泊・飲食業		合計	
全体数	66	100.0%	22	100.0%	40	100.0%	54	100.0%	7	100.0%	189	100.0%
①	2	3.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.9%	0	0.0%	3	1.6%
②	23	34.8%	9	40.9%	9	22.5%	14	25.9%	2	28.6%	57	30.2%
③	1	1.5%	1	4.5%	3	7.5%	4	7.4%	0	0.0%	9	4.8%
④	3	4.5%	2	9.1%	4	10.0%	3	5.6%	0	0.0%	12	6.3%
⑤	20	30.3%	0	0.0%	3	7.5%	9	16.7%	3	42.9%	35	18.5%
⑥	6	9.1%	2	9.1%	1	2.5%	2	3.7%	0	0.0%	11	5.8%
⑦	11	16.7%	8	36.4%	20	50.0%	21	38.9%	2	28.6%	62	32.8%
⑧	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

2. 人手不足の状況について

企業の5割以上が人手不足を感じており、特に「若手・中堅層の不足」が33.1%と目立ちます。業種別では建設業で不足感が深刻です。これに対する企業の対応策としては、求人などの「採用活動の強化」が最も多く、次いで「賃上げの実施」や「外注の活用・拡大」、さらに「多様で柔軟な働き方の推進」が上位を占めており、多様なアプローチで人材確保や省力化を模索している現状が伺えます。

(1) 人手の充足状況について

【選択肢】

- ① ほぼ全ての年齢層で不足している
 ② 若手・中堅で不足し、中高年層は足りている
 ③ 若手・中堅は足りており、中高年層で不足している
 ④ 過不足はない
 ⑤ 総じて過剰である

業種	建設業		製造業		卸・小売業		サービス業		宿泊・飲食業		合計	
全体数	53	100.0%	19	100.0%	34	100.0%	48	100.0%	6	100.0%	160	100.0%
①	17	32.1%	0	0.0%	9	26.5%	7	14.6%	0	0.0%	33	20.6%
②	23	43.4%	7	36.8%	9	26.5%	14	29.2%	0	0.0%	53	33.1%
③	1	1.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	16.7%	2	1.3%
④	12	22.6%	12	63.2%	16	47.1%	27	56.3%	5	83.3%	72	45.0%
⑤	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

規模	5人以下		6～10人		11～20人		21～51人		51人以上		合計	
全体数	84	100.0%	32	100.0%	19	100.0%	15	100.0%	10	100.0%	160	100.0%
①	14	16.7%	4	12.5%	6	31.6%	7	46.7%	2	20.0%	33	20.6%
②	15	17.9%	19	59.4%	9	47.4%	6	40.0%	4	40.0%	53	33.1%
③	0	0.0%	1	3.1%	1	5.3%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.3%
④	55	65.5%	8	25.0%	3	15.8%	2	13.3%	4	40.0%	72	45.0%
⑤	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

(2) 人手不足への対応策について

【選択肢】

- ① 採用活動の強化
 ② 外注の活用・拡大
 ③ 女性・高齢者など多様な人材確保
 ④ 社員のスキルアップによる生産製向上
 ⑤ 賃上げ実施
 ⑥ デジタル活用等 省力化・省人化
 ⑦ 多様で柔軟な働き方の推進
 ⑧ 業務の見直し
 ⑨ 外国人材の活用
 ⑩ 労働時間・残業時間の増加
 ⑪ 過剰な品質・サービスの見直し
 ⑫ 兼業・副業人材の活用
 ⑬ 他社協業による省力化
 ⑭ 事業の縮小・撤退
 ⑮ 特になし
 ⑯ その他

業種	建設業		製造業		卸・小売業		サービス業		宿泊・飲食業		合計	
全体数	81	100.0%	34	100.0%	58	100.0%	66	100.0%	9	100.0%	248	100.0%
①	12	14.8%	5	14.7%	11	19.0%	9	13.6%	1	11.1%	38	15.3%
②	23	28.4%	2	5.9%	4	6.9%	6	9.1%	1	11.1%	36	14.5%
③	2	2.5%	4	11.8%	5	8.6%	5	7.6%	2	22.2%	18	7.3%
④	4	4.9%	0	0.0%	1	1.7%	6	9.1%	0	0.0%	11	4.4%
⑤	16	19.8%	6	17.6%	8	13.8%	8	12.1%	1	11.1%	39	15.7%
⑥	1	1.2%	3	8.8%	2	3.4%	2	3.0%	0	0.0%	8	3.2%
⑦	11	13.6%	3	8.8%	6	10.3%	5	7.6%	0	0.0%	25	10.1%
⑧	1	1.2%	2	5.9%	2	3.4%	1	1.5%	0	0.0%	6	2.4%
⑨	2	2.5%	2	5.9%	1	1.7%	1	1.5%	0	0.0%	6	2.4%
⑩	2	2.5%	0	0.0%	1	1.7%	0	0.0%	0	0.0%	3	1.2%
⑪	1	1.2%	0	0.0%	0	0.0%	3	4.5%	0	0.0%	4	1.6%
⑫	1	1.2%	3	8.8%	5	8.6%	1	1.5%	2	22.2%	12	4.8%
⑬	0	0.0%	0	0.0%	1	1.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.4%
⑭	1	1.2%	1	2.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.8%
⑮	4	4.9%	3	8.8%	11	19.0%	17	25.8%	2	22.2%	37	14.9%
⑯	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	3.0%	0	0.0%	2	0.8%

⑯ その他 今のところ足りている 今まで不足していない

3. 自由記載・コメント

- ・今いる従業員が退職したら採用は困難である。どこも人手不足でどうなっちゃうのでしょうか。永遠に改善されないのでは
ないでしょうか。不安です。
- ・今後物価高騰による景気影響がどのくらいあるのか心配です。各分野の専門家による見通しなどの情報をいただけるとあ
りがたいです。
- ・AIの活用による効率化、省力化の推進
- ・後継者がいないので、年を取ったら店はたたむ

4. キャッシュレス決済について

キャッシュレス決済の導入状況は、「導入していない」企業が51.9%と過半数を占めています。未導入の主な理由に
は、事業者側の手数料負担といったコスト増加や、業種柄そもそも必要性を感じていない点などが挙げられます。一方で
導入済みの企業では、PayPayなどのコード決済や各種クレジットカードが主流です。なお、未導入企業の約9割
(92.9%) は、今後も導入したくないと回答しています。

(1)キャッシュレス決済の導入状況

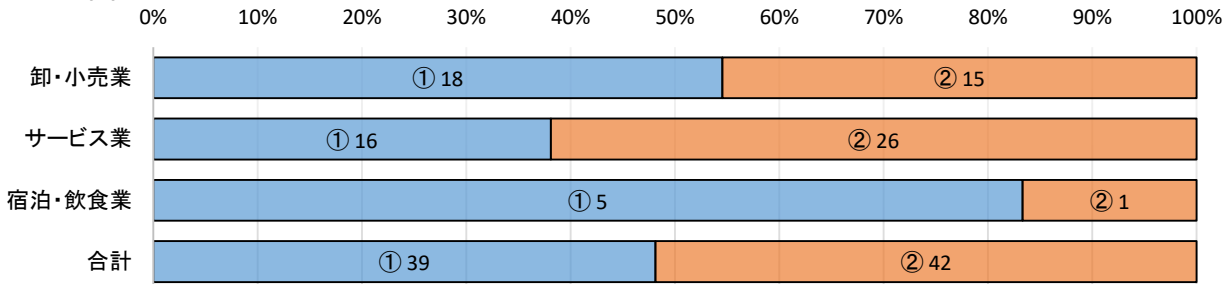
【選択肢】

①導入している

②導入していない

業種	卸・小売業		サービス業		宿泊・飲食業		合計	
全体数	33	100.0%	42	100.0%	6	100.0%	81	100.0%
①	18	54.5%	16	38.1%	5	83.3%	39	48.1%
②	15	45.5%	26	61.9%	1	16.7%	42	51.9%

図表4-(1) 【業種別】キャッシュレス決済の導入状況



a.決済方法の種類について 【複数回答】※(1)で「①」と回答した方

【選択肢】

1.クレジットカード ①VISA ②Mastercard ③American Express ④DINERS ⑤銀聯カード

2.電子マネー ①Suica/PASMO ②nanaco ③WAON ④楽天Edy

3.コード決済 ①PayPay ②LINE Pay ③楽天Pay ④au Pay ⑤&Pay ⑥AliPay

4.デビットカード 5.その他

		①		②		③		④		⑤		⑥	
卸・小売	1	18	30.0%	18	30.0%	15	25.0%	7	11.7%	2	3.3%		
	2	6	25.0%	6	25.0%	5	20.8%	7	29.2%				
	3	13	34.2%	4	10.5%	10	26.3%	8	21.1%	1	2.6%	2	5.3%
	4	1	-	5	0								
サービス	1	16	28.1%	15	26.3%	11	19.3%	8	14.0%	7	12.3%		
	2	5	38.5%	2	15.4%	2	15.4%	4	30.8%				
	3	14	36.8%	3	7.9%	8	21.1%	8	21.1%	1	2.6%	4	10.5%
	4	2	-	5	1	iD、QuickPay、d払い							
宿泊・飲食	1	4	22.2%	4	22.2%	4	22.2%	3	16.7%	3	16.7%		
	2	3	50.0%	1	16.7%	1	16.7%	1	16.7%				
	3	5	38.5%	0	0.0%	3	23.1%	3	23.1%	0	0.0%	2	15.4%
	4	1	-	5	1	d払い、ユニオンpay、ApplePay、ID、QUICPay							

b.使用する決済サービスの種類について【複数回答】※(1)で「①」と回答した方

【選択肢】

- ①キャッシュレステクノロジーの端末を使ったサービス ②エアペイ ③ステラパック
④スクエア ⑤その他

業種	卸・小売業		サービス業		宿泊・飲食業		合計	
全体数	14	100.0%	12	100.0%	4	100.0%	30	100.0%
①	7	50.0%	2	16.7%	0	0.0%	9	30.0%
②	0	0.0%	6	50.0%	4	100.0%	10	33.3%
③	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
④	0	0.0%	1	8.3%	0	0.0%	1	3.3%
⑤	7	50.0%	3	25.0%	0	0.0%	10	33.3%

- ⑤その他 ・ペイゲート ・自社端末 ・POS
・セブンイレブン ・TimsPAY ・ジェットスタンダード
・後払い決済サービスの申し込みのみ。店頭では使用不可。
・銀行系 ・該当なし

c.今後の導入予定について ※(1)で「②」と回答した方

【選択肢】

- ①導入したい・する予定 ②導入したくない

業種	卸・小売業		サービス業		宿泊・飲食業		合計	
全体数	15	100.0%	26	100.0%	1	100.0%	42	100.0%
①	1	6.7%	2	7.7%	0	0.0%	3	7.1%
②	14	93.3%	24	92.3%	1	100.0%	39	92.9%

①導入予定の決済方法

電子決済、クレジットカード、コード決済

キャッシュレス決済端末機を導入予定

②導入したくない理由

事業者コストの増加
現時点では導入の必要性を感じていないから
そんなに活用する様な人が購入しないので、意味がなさそうに感じる
煩わしい、望むお客さんも無いと思う
高額取引である
個人との取引が少ないので、必要性を感じない
口座振替と銀行振込としているため
業者間の取引が多い為
業態にそぐわない
対応出来ない為
面倒
不要

手数料が負担
販売額が少なすぎる
現状システムが追い付いていない
自分でも使っていないから分からない
あまり利用がない
業種柄、必要性を感じない
口座振替がメインなため
口座振り込みの為
掛け売が多い
物を販売する業種でない為
必要なし

(2)訪日外国人旅行者の需要取り込みに向けた対策について

翻訳機や英語表記のメニューを活用・用意している
キャッシュレス決済を導入し、利便性をはかっている
営業エリア拡大

インバウンド向け商品の開発、M&Aによる新規事業
個食品の開発